

保護者アンケートを読ませていただいて

校長 佐藤 篤正

学校経営に関する保護者アンケートにお答えをいただきありがとうございます。
すべての項目というわけにはいきませんが、内容に関してお答えをさせていただきます。

※アンケートは無記名にしてほしい。

確かにアンケートは無記名の方が、書きやすいと思いますが、場合によって直接ご説明したり、対処すべき事もありますので、記入をお願いしております。封筒に入れて出していただくので、校長・教頭・主幹の3名だけが見ます。また内容をまとめる際も、誰が書いたかは一切明らかにせずにまとめた後に教職員に伝えています。

どうしても内容的に、記名しにくい場合は、無記名でもかまいません。

※テスト前、テスト週間にかかる提出物が多い。

今回ご指摘を受けた中で多かった項目です、概当教科に確認と改善を指示するとともに、手元にノート等が有れば学習に使えますので、テスト日の一週間前までには提出・返却をすませるようにしたいと考えています。

※分からない生徒のための相談時間や、学習の時間を作ってほしい。

※塾に行っていない生徒に対して、しっかり指導をしてほしい。

※出来ない生徒に対するフォローや対策ができていない気がする。

今後城南中学校で力を入れていきたい部分です。ご意見を大事にとらえ改善していきたいと思います。

※授業参観をさせていただいて、わかりにくい授業だと感じました。

※理科の実験で、決まった生徒が実習をする、輪番制などを取り入れ、すべての生徒が体験できるようにしてほしい。

保護者のアンケートでも、「わかりやすい授業」が昨年の87%から75%と12ポイントも下がっていました。これは、生徒の4人に1人が「授業がわかりにくい」「授業が楽しみでない」と家庭で話をしている事だと真摯に受け止め、教師一人一人の努力はもちろん学校として質の高い授業が出来るための具体的な取組を早急に行う必要があると考えています。

本年度を開始年度として、「家庭学習 WEEK」の取組を始めました、ゆくゆくは小学校との同時期開催に向けて取り組んでいきます。学習面での取組、分かりやすい評価の在り方、授業改善は今後も大きなテーマとして取り組んでいきます。

※すぐに警察沙汰になるのが分からないと子供が言っています。そんなに学校側では対処できないことが多いのでしょうか。その内容はどんな事なのか気になります。

暴力事件、恐喝等に関しては警察との連携も行います。また学校外で行われた事に関しても同様です。学校での指導・保護者の指導を行っても、指導の効果が上がらず同じ事が繰り返される場合も同じです。

学校での指導が不十分だと感じる、社会的にも許されない行為と思われる、学校に任せていると時間がかかりまどろっこしいと感じる、相手の保護者の誠意が感じられない等の理由から、直接警察へ訴えられるケースも急増しています。これらの場合も積極的に警察と連携をとって対処していきます。

また昨年成立した「いじめ防止法」には、いじめと思われる事象は警察との連携を図ると明記されていますので、いじめ事象が疑われる場合は必ず連携を行います。

小学校時は、子供どうしの事だから…で、すんでいた事が、それではすまなくなるケースが多いという事を知っておいてください。

何が起きているかの内容に関しては、被・加害者本人、その保護者の方の思いもあるので、あまり具体的にお知らせが出来ないものも多くあります。学年通信やPTA通信、学級通信等にて、全体的な問題としてお知らせをしている事が多いので、傾向を掴んでいただくとありがたいです。またご心配な事があれば、担任や生徒指導主事、管理職へご連絡ください（ふれあい相談窓口として教頭をあてております）。

昨年7月には携帯電話（スマートホン他を含む）によるLINEの使用に関して、学年別の保護者集会を持たせていただきました。今後も、全体にお知らせをする必要がある場合はこのような集会を持つ事もあります。出来るだけご参加ください

なお、他校生徒や、外部者が校内に入る、あるいは正門近くから離れない、〇〇を出せと言うなどの場合は、110番通報を行い、パトカーの臨場を要請します。

また、校内の器物破損（申し出がない場合）は昼夜間を問わず、破損被害届を出し警察との連携を行います。

生徒の登下校中に、不審者等があらわれた場合も通報し、事情聴取等に協力し、被害の防止に努めます。

以上アンケート内容から、早くお答えをしておいた方が良くと考えられる項目について、答えさせていただきました。

教職員一同、城南中学校での教育活動がより質が高く、より良く生徒が育つものになるよう今後とも、努力と改善に努めていきたいと思っておりますので、さらなる、ご協力をお願い申し上げます。